

Exhibition commemorating the 1300th anniversary of Kofukujii The National Treasure Butto (Buddha Head) of Yakushi Nyorai and Masterpieces from Kohfukujii

白鳳の微笑みに会いに

国宝興福寺仏頭展

興福寺創建1300年記念

2013年9月3日(火) — 11月24日(日)

開館時間 午前10時—午後5時(入館は午後4時30分まで) 休館日 毎週月曜日(ただし9月16日、9月23日、10月14日、11月4日は開館、翌日休館) お問い合わせ 11月ダイヤル03-5777-8600 展覧会公式ホームページ <http://butto.exn.jp>

主催 東京藝術大学、法相宗大本山興福寺、日本経済新聞社 後援 文化庁 協賛 NEC、J.R.東日本、積水ハウス、大王製紙、富士ゼロックス、三菱商事、リソー教育グループ 協力 あいおいニッセイ同和損保、凸版印刷、野崎印刷紙業

東京藝術大学大学美術館 東京・上野

国宝「銅造仏頭」白鳳時代 興福寺蔵



興福寺創建1300年記念

国宝 興福寺仏頭展

◎展覧会のみどころ

仏頭の数奇な運命

1187年に山田寺から移送されて東金堂の本尊となった「仏頭」は、1411年に火災で胴体を失って所在不明となり、500年の時を経て1937年に再び発見されるなど数奇な運命をたどりました。

白鳳の貴公子にクローズアップ

破損仏でありながら異例の国宝指定を受けている「仏頭」は、微笑んでいるようで威厳がある凛とした表情から「白鳳の貴公子」と呼ばれています。会場では360度のアングルからその魅力を味わえます。

木造十二神将立像と600年ぶりの再会

「仏頭」とその眷属として造られた「木造十二神将立像」は、仏頭が所在不明になって以来、今日までそろって並べられることはなく、今回が主従600年ぶりの再会となります。

板彫十二神将像の魅力

ヒノキのわずか厚さ3センチ前後の板を彫り、表情豊かでたくましく、躍動感のある神将たちの姿が見事に描き出されており、我が国の浮彫像のなかで屈指の名品です。

国宝25点、重要文化財31点 珠玉のラインアップ

興福寺は全国の国宝仏像彫刻のおよそ15%を所蔵する仏像の宝庫です。国宝25点の仏像のほか、法相宗関連の絵画や書跡も展示し、法相の深遠な世界にいきないます。

◎観覧料

一般 1,500円(1,300円/1,200円)

高校・大学生 1,000円(800円/700円)

※中学生以下は無料。()内は、前売料金/20名以上の団体料金。
※前売券は6月1日(土)から9月2日(月)まで、ローソンチケット(Lコード:37392)、セブンイレブン(セブンコード:022-536)、チケットぴあ(Pコード:765-648)、イープラス、JTBなど主要プレイガイドで販売。

お得な「来場期間限定」前売券も発売!

●一般1,100円 ●高校・大学生600円

9月3日～9月20日の来場限定チケットです。ただし9月9日、17日は休館。有効期間後は、当日券との差額(400円)支払いで入場可能です。

◎展覧会公式ホームページ <http://butto.exhn.jp>

1. 国宝「銅造仏頭」 白鳳時代 興福寺蔵
2. 重要文化財「厨子入り木造弥勒菩薩半伽像」 鎌倉時代 興福寺蔵
3. 重要文化財「持国天像」(部分) 鎌倉時代 興福寺蔵
4. 奈良県文化財「法相曼荼羅図」 室町時代 興福寺蔵
5. 重要文化財「銅造釈迦如来倚像」 白鳳時代 東京・深大寺蔵



◎開催記念イベント

◆記念講演会

1. 「仏頭のひみつ—制作工程を中心に—」

10月5日(土)午後2時—午後3時30分

講師=松田誠一郎(東京藝術大学教授)

2. 「仏頭—数奇とその宗教性」

10月19日(土)午後2時—午後3時30分

講師=多川俊映(法相宗大本山興福寺 貫首)

3. 「鎌倉復興期の興福寺東金堂諸仏—銅造仏頭と木造十二神将像について」

11月10日(日)午後2時—午後3時30分

講師=金子啓明(興福寺国宝館 館長)

※講演会の参加は無料ですが、本展の観覧券が必要となります。当日、展覧会受付にて午後1時より入場整理券を配布します。各回定員150名。会場は東京藝術大学内。

◆講話「興福寺と東金堂・中金堂の歴史」

会期中毎週水曜日、土曜日の午前11時、午後2時より展示会場内で行います。焼失・再建を繰り返してきた興福寺伽藍の中で、数奇な運命をたどった銅造仏頭と東金堂、300年ぶりの再建が進んでいる中金堂の歴史を寺僧よりわかりやすく解説します。各回約30分。参加無料。

◆仏頭発見の日記念イベント

国宝「銅造仏頭」が、昭和12年(1937)10月29日に東金堂で発見されたことを記念して特別法要とトークショーを実施します。参加希望の場合は展覧会公式ホームページからお申し込みください。事前申し込み制で応募者多数の場合は抽選。応募締切は10月1日(火)。イベント参加は無料ですが、本展の観覧券が必要となります。

1. 特別法要と特別観賞の夕べ

10月29日(火)午後6時—午後8時

興福寺貫首以下の寺僧による特別法要と参加者限定の本展特別鑑賞会を展示会場内で行います。定員200名。

2. 「見仏記」トークショーと特別観賞の夕べ

10月30日(水)午後6時30分—午後8時30分

本展仏頭大使のみうらじゅんさん、いとうせいこうさんによるトークショーと参加者限定の本展特別鑑賞会を展示会場と東京藝術大学内で行います。定員150名。

「仏頭大使」にみうらじゅんさん、いとうせいこうさんが就任!

仏像好きとして知られ「見仏記」(角川文庫)でも人気の二人、イラストレーターのみうらじゅんさんが「仏頭大使1号」、作家・クリエイターのいとうせいこうさんが「仏頭大使2号」に就任。会期終了まで本展を応援いただきます。現在予定している活動は、展覧会オリジナルグッズの開発、展覧会場訪問記、トークショーです。活動の様子は公式ホームページ上に随時、掲載します。ご期待ください。



みうらじゅんさん(中) いとうせいこうさん(右)

東京藝術大学大学美術館

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8



[交通案内]
JR上野駅公園口、東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分
京成上野駅、東京メトロ日比谷線・銀座線上野駅より徒歩15分
駐車場はございませんので、お車でのご来館はご遠慮ください。

割引券

●一般1,500円→1,400円 ●高校・大学生1,000円→900円

本券に上記割引料金を添えて、会場券売窓口にお出しください。1枚1名様限り。他の割引券との併用はできません。